

農・食一環型地域複合経営システムの構築

事業名：経営構造対策事業（平成12年度認定）
 地区名：愛知県大府市他知多東部地区
 事業主体：あいち知多農業協同組合
 管理主体：(株)げんきの郷（農畜産物処理加工施設）
 施設名：農畜産物処理加工施設 2棟955㎡（H12）
 地域農業管理施設 1棟780㎡（H13）
 事業費：519,131千円（国費：245,776千円）

関係市町村：大府市、阿久比町、東浦町

1. 各組織の概要

組織名	(株)げんきの郷	ななこうぼうさいさい (有)七工房彩菜
構成員	取締役13名、監査役2名、職員37名	取締役3名、監査1名 (常時パート8名、臨時パート4名)
設立年月日	平成12年3月1日	平成12年11月15日
業務内容等	農産物・畜産物の加工、販売、 配送、飲食店の経営、温泉利用施設 の運営、「あぐりタウン げんきの郷」 施設の運営	惣菜の製造・販売、飲食店の経営
連絡先	0562-45-4080 http://www.agritown.co.jp	愛知県大府市吉田町正右工門新田 1-1

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

当地区は、名古屋市に隣接していることから都市化や混住化（総世帯に占める農家戸数H2 5.1% H7 4.31%）が進み、担い手農家の減少（基幹男子農業専従者のいる農家数H2 269戸 H7 215戸）、高齢化しているとともに、個性的かつ付加価値の高い農産加工品の開発が進んでいなかった。

そこで、農協が中心となり平成9年に設立したアグリルネッサンス会議において、平成10年に地域農業の構想が作成され、ハード着

手前の啓発・合意形成が十分行われた。

この構想に基づき、農協が100%出資する(株)げんきの郷が、平成11年度から構造改善事業により直売所及び食材供給施設を、自己資金で温泉施設等を総合的に建設し「げんきの郷」の整備を始めた。

(2) 取組概要

さらに、平成12年度から経構事業により加工施設及び地域農業管理施設を整備し、大都市隣接地域という好立地条件の下、都市住民のニーズに応えた農産物の提供ができたことから平成15年度には、げんきの郷全体で202万人の入り込み客となった。

加工施設では、豆腐・味噌等を(株)げんきの郷が行うほか、女性グループが有限会社「七工房彩菜」を設立し、炊き込みご飯・惣菜等の加工販売を行い、平成15年度には、目標の2.5倍を超える売上（415,061千円）を上げており生産の拡大と所得の安定・拡大を図っている。

地域農業管理施設では、認定農業者等・新規就農希望者の研修を行い、平成15年度までに32名の新規就農者を確保するとともに、生産者と消費者との連絡会議を行い、ゴーヤ、パプリカ等、消費者ニーズに応える農産物の提供を行っている。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の解消	
計画時(人)	目標(人)	増加率(%)	市町村目標割合(%)	地区目標割合(%)	計画時	目標	増加ポイント	計画時(ha)	目標(ha)
61	107	175.4	5.4	5.4	(23.4%) 676.0	(36.8%) 1,065.0	13.4	0.0	0.0

(2) 地区選択目標

農産物加工品の販売額		新規就農者の確保	
計画時(千円)	目標(千円)	計画時(人)	目標(人)
12,000	150,548	4	37

整備施設

げんきの郷 全景



農畜産物処理加工施設外観



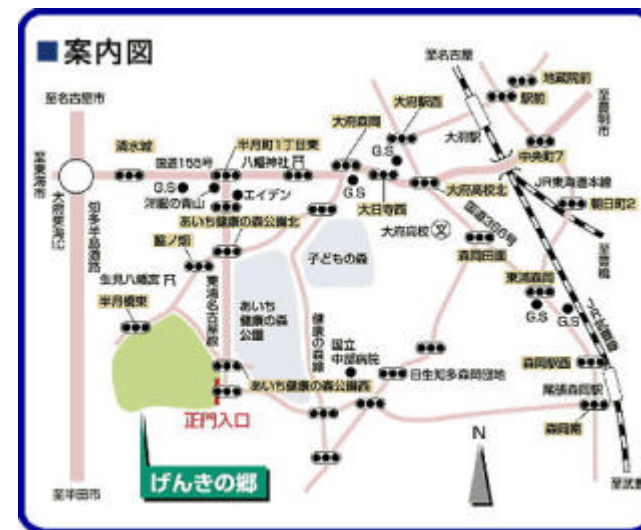
地域農業管理施設外観



地域農業管理施設研修風景



農畜産物処理加工施設内部



交通の案内

知多半島道路・大府東海ICより10分
 JR東海道線・大府駅より知多バスで10分
 大府市循環バス・東浦町運行バス運行有り